



関係者各位

2020年8月6日
Prop Tech plus 株式会社

災害情報速報連絡システム『ソクレン』サービス提供開始について ～テレワーク時代における新たな情報連絡網をクラウド上で展開～

Prop Tech plus 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：門田将之、以下「PT+」）は、この度地震や台風などの広域災害発生時に、プロパティマネジメント会社やビルメンテナンス会社等の関係各社への連絡・情報収集を一元化したクラウドサービス「ソクレン」（URL：<https://proptech.plus/sokuren/>）のサービス提供を開始したことをお知らせします。

地震災害や記録的な大雨・台風による水害を始めとする大規模自然災害が毎年のように発生する状況が続いています。加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や働き方改革の推進に伴い、在宅勤務等のテレワーク化が急速に促進され、遠隔地で働く従業員や関係者とのリモート環境における迅速かつ効率的な情報伝達方法の構築など、新しい時代での災害危機管理対策は重要な課題となってきました。

この度PT+では、これまでREIT業界向けシステム開発で培った様々なノウハウを融合・活用し、リアルタイム AI 緊急情報サービス「FASTALERT」（URL：<https://fa.xwire.jp/>）を提供する株式会社 JX 通信社（本社：東京都千代田区、代表取締役：米重克洋）の技術協力のもとシステム開発を進め、本年8月より不動産管理事業者向けの災害情報速報連絡システム「ソクレン」のサービス提供を開始いたしました。

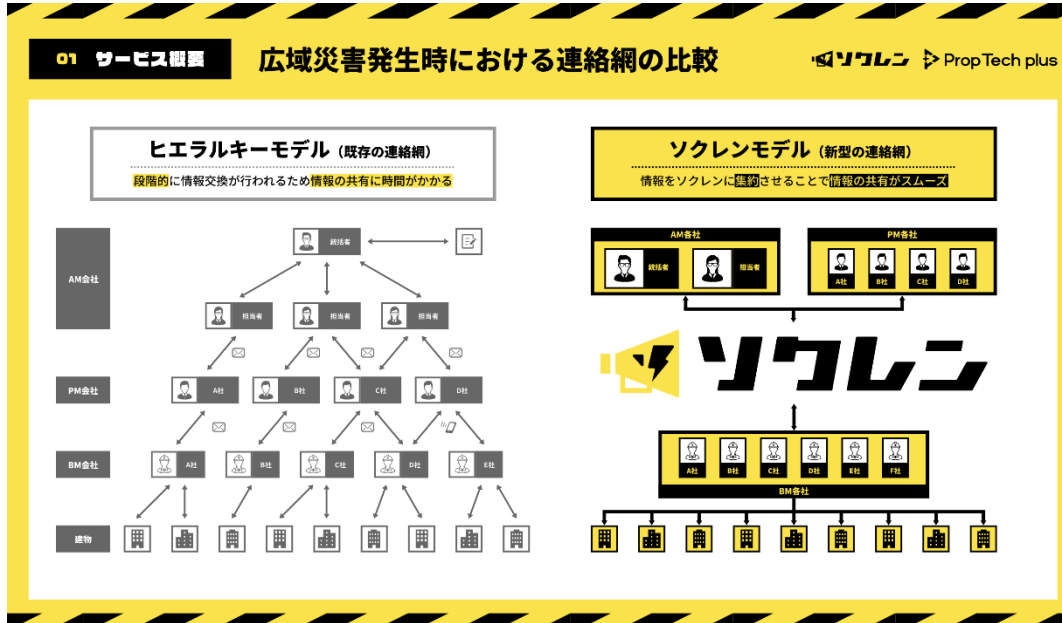
これまで災害発生時においては、各拠点の災害情報の取りまとめや対応状況の把握といった災害発生時における情報の共有が体系的・システムの的になされず、また事業者や担当者毎に連絡手段が統一されていないケースもあり、情報そのものの正確性や網羅性、情報の即時伝達・共有の仕組み、発生した事故等を網羅的に把握し、対応を管理する仕組みが求められていました。

「ソクレン」は、不動産管理事業者が管理する全国各地の物件地域における災害情

報をリアルタイムに入手し、広域災害発生時に複数の関連事象者間へ必要な情報を即時連絡できるクラウドサービスで、保有・賃貸する不動産等の資産の保全に寄与し、また平常時においても関係者への一斉連絡や情報収集に寄与するシステムとなっております。

「ソクレン」の特徴は次のとおりです。

【広域災害発生時における連絡網の比較】



【既存の想定連絡網とソクレンの違い】

01 サービス概要 既存の想定連絡網とソクレンの違い

	既存連絡網	ソクレン
災害発生の確認	遠隔地での地震等の災害発生情報の取得が困難	通知にて確認 気象庁データと連携しているため 該当物件の災害情報が自動で送られます
連絡の	方法 一括連絡	一斉連絡が簡単 登録済みPM会社BM会社のメールアドレスに 一括で送信します
	手段 個別連絡	マルチデバイス対応 PC/タブレット/スマートフォンに 対応しております
	即時性 遅延	画面上で確認可能 クラウド上での報告/確認が可能のため 連絡をスムーズに行えます
情報収集の	即時性 遅延	画像データの貼り付けが可能 クラウド上で写真などを容易に確認できます
	利便性 不便	各社の対応状況が画面にて一目で確認可能 PMBM会社の対応状況がAM担当者の報告を 待たずに一覧で確認可能です
	各物件で発生した事象毎の進捗管理が困難	進捗を画面上にて確認 各担当者が情報をまとめていなくても 一覧画面にて確認可能です

PT+は、本取り組みに加え、引き続き不動産証券化業界並びに関連業界において、新たなソリューション提供を通じてお客様の利便性、効率性向上に寄与してまいります。

会社概要

Prop Tech plus 株式会社

所在地：東京都港区西新橋 1-7-2 虎の門高木ビル 8 階

代表者：代表取締役社長 門田 将之

事業内容：不動産金融業界に特化したシステム開発・Web 構築

J-REIT ポータルサイトである JAPAN-REIT.COM の運営

REIT 関連データベース事業

URL：<https://proptech.plus/>

<本件に関するお問い合わせ>

Prop Tech plus 株式会社

イノベーション本部 新規事業推進部

古屋

sokuren@proptech.plus